

登録コード	FSC26500	開講年度	2026				
授業題目	視覚感性工学特論					担当教員	水科 晴樹
英文授業名	Advanced Visual Kansei Engineering					副担当	
単位数	2	講義期間	前期(後半)	曜日・時限	水曜・3時限	水曜・4時限	対象学生
講義室	繊維 2 9 番講義室			授業形態	講義	備考	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	【ディプロマ・ポリシー】					⇔	【授業の達成目標】
	26FS加・繊維学，25FS加・繊維学						
	【専攻】基礎科学に関連する総合的な自然科学分野の普遍的基礎学力，さらにそれを発展的に応用できる能力					⇔	基礎科学に関連する総合的な自然科学分野の普遍的基礎学力，さらにそれを発展的に応用できる能力
(2)授業の概要	視覚感性工学の基礎知識である，眼球光学系から脳までを含む視覚系の生理学，心理物理学と測定法の基礎，光の強度と視覚の特性，光の物理量と心理物理量の違い，視覚の時空間特性，奥行き知覚を含む空間知覚特性，色知覚の特性，運動知覚の特性，視覚情報表示技術の評価手法と生体影響について講述し，視覚感性工学に関する基礎力および応用力を身につける。						
(3)授業計画	この授業は1コマ100分で実施する。 1．視覚情報処理の概要，視覚系の生理学 2．心理物理学と感覚・知覚測定法の基礎 3．光の強度と視覚の特性 4．光の物理量と心理物理量 5．視覚の時空間特性 6．色知覚の基礎 7．色知覚と色空間 8．空間知覚：奥行き知覚 9．空間知覚：視空間と自己運動感覚 10．運動知覚，視覚情報処理技術の評価手法 11．プレゼンテーション 12．プレゼンテーション 13．プレゼンテーション 14．プレゼンテーション						
(4)成績評価の方法	成績評価はレポート（60％）とプレゼンテーション（40％）をもとに行う。						
(5)成績評価の基準	基本的な専門用語や概念を知っており、視覚感性工学を説明する際にどの用語や概念がふさわしいかが判別できる。 成績の評定は下記の通りとする。 秀：授業の達成目標の水準から見て卓越している 優：授業の達成目標の水準よりかなり上にある 良：授業の達成目標の水準よりやや上にある 可：授業の達成目標の水準にある 不可（D）：授業の達成目標の水準よりやや下にある 不可（F）：授業の達成目標の水準にない						
(6)事前事後学習の内容	この授業は90時間の学修を必要とする内容です。従って、60時間以上の時間外学習が必要となります。						
(7)履修上の注意	特になし						
(8)質問,相談への対応	授業に関する質問・相談は授業時間中あるいは授業終了後に対応します。授業時間以外は、担当教員へメールで問い合わせてください。						
(9)授業の形式	講義とプレゼンテーションという形式で実施します。						
(10)学生へのメッセージ	特になし						
【教科書】	指定しない						
【参考書】	指定しない						